

調査広報委員会報告書

委員長 力武 清人

本年度の協議内容	協議 題	趣 旨 説 明 等
	1 広報紙コンクールについて	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクール九州大会の審査結果を受けて取組の一層の向上を行う。 ・コンクール審査を充実させるため、方法について検討する。
	2 九州地区審査で入賞するための方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクール実施に向けた日程について協議 ・福岡県の入賞作品が九州地区の審査の対象そのものから外れている背景について確認 ・コンクールの対象となる広報紙の発行期間について、九州と福岡県のズレを解消する方策について協議
	3 コロナ禍における審査の在り方について	<ul style="list-style-type: none"> ・九州他県よりも新型コロナウイルス感染症の拡大状況が深刻な福岡県における審査の在り方について協議
	4 広報紙コンクール審査結果等	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀作品等の共有
役員会への提起事項	事 項	趣 旨 ・ 内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀作品等を全単Pに周知しPTA活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの目的、使命を委員会活動に落とし込んだ上で、委員会の充実を図るとともに、本県の全単Pが優秀作品等を閲覧できる方策を検討する。

処 理	備 考 (調査等資料名)	
<ul style="list-style-type: none"> ・他県事例を参考にし、テーマ設定により紙面を工夫し、質の向上を図る。 ・地区審査、県審査ともにコロナ禍における審査の在り方を検討する。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・九州他県と比較すると福岡県の学校数が多いため、審査に多くの時間・期間を要することが、コンクール対象期間のズレに繋がっていることを、他県に理解してもらったうえで、ズレの解消を図る。 ・九高P連の委員会で協議し、対象期間の規定改定を図る。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・例えば北九州地区においては一堂に会しての審査を避け、各委員に広報紙を送付し、各委員で時間を十分にかけて上でじっくりと審査する。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・各委員が個別に広報紙をじっくりと審査する北九州モデルや、データ化したものを審査する方法等、じっくりと審査するための方策を検討。 		
次年度への要望(引継)事項	協議 題	趣 旨 等
	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は各学校の広報委員会の努力による汗が、しっかりと評価できるように気を付けて活動を行った。次年度もその姿勢が引き継がれるようにしたい。 	